

平成29年度の管理運営状況（東京体育館）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等																																																																	
管理状況	適切な管理の履行	(7) 施設の提供について	<p>「イオンカップ 2017 世界新体操クラブ選手権」など、国際大会や全国大会等の大規模大会を積極的に誘致した。また、選手が最高のパフォーマンスを発揮するとともに、観客が安全・安心かつ快適に観覧できるよう、主催者との緊密な連携体制を構築し、円滑かつ効果的な大会運営に全面的に協力した。</p> <p>また、施設貸し出しの空き枠を利用し、公共性を担保しつつ、サーカスやコンサート等のイベントを誘致し、収益の確保を図った。こうした収益は、備品の購入や設備更新等のサービス充実に充てるなど、利用者に還元していく。</p> <p>さらに、平成30年度の工事休館への対応や東京2020大会への準備について、東京都や組織委員会と連携しながら的確に進めた。</p>																																																																	
	安全性の確保	(3) 防災への配慮・緊急時対策	<p>9月と3月に自衛消防訓練を行った。コンソーシアム各社及び館内関係団体が参加し、災害発生時の自衛消防組織の行動要領や各種消防機器の操作を確認した。また、消防隊員の指導のもと、自衛消防活動に必要な知識及び技能の習得を図った。</p>																																																																	
事業効果	利用の状況	(1) 利用状況	<p>個人利用者数は、平成24年度の大規模改修に伴う長期休館のため大幅に落ち込んだが、PR等の努力を重ねた結果、現在は休館前の水準に回復しつつある。平成29年度は、天候不順等の影響で前年よりやや減少となったが、引き続き同水準を維持し677,725人（無料利用者53,121人を含む）となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数(人)</td> <td>525,764</td> <td>598,746</td> <td>653,606</td> <td>683,147</td> <td>679,689</td> <td>683,112</td> <td>88,470</td> <td>493,712</td> <td>623,300</td> <td>667,934</td> <td>679,297</td> <td>677,725</td> </tr> </tbody> </table> <p>団体利用施設は、18年度以降ほぼ100%に近い稼働率となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メインアリーナ稼働率(%)</td> <td>99.5</td> <td>99.6</td> <td>98.9</td> <td>99.7</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.2</td> <td>99.4</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> <td>99.8</td> </tr> <tr> <td>サブアリーナ稼働率(%)</td> <td>98.1</td> <td>98.1</td> <td>99.3</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.4</td> <td>100.0</td> <td>99.5</td> <td>99.7</td> <td>99.9</td> <td>99.1</td> <td>99.9</td> </tr> </tbody> </table>		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297	677,725		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7	99.8	サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1	99.9
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																					
個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297	677,725																																																								
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																																																								
メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7	99.8																																																								
サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1	99.9																																																								
事業の効果	事業の取組み	<p>(1) スポーツ振興事業の実施状況</p> <p>(2) 自主事業の実施状況</p> <p>(3) サービス向上に向けた取組</p> <p>(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況</p> <p>(5) 利用者ニーズの把握</p> <p>(6) 利用者の満足度</p>	<p>子供から高齢者まで、障害の有無や体力の程度に関わらず、誰もがライフステージに応じてスポーツを楽しむための取組や、アスリートの育成に寄与するための支援事業や指導者育成事業など、全27事業を実施した。</p> <p>施設の有効活用を図りながら、初心者から上級者まで幅広く対応するプログラムを実施し、特にキッズ向けのプログラムなどで多くの参加者を得た。</p> <p>館内掲示物の見直しを行い、よりの確な情報提供を行うことで美観の改善や利用者の利便性向上に努めた。また、例年冬に行っているイルミネーションの点灯期間を延長し、来訪者に憩いの場を提供した。</p> <p>平成27年度に新たにオープンしたレストランの人气が定着し、朝早くから夜遅くまで多くの方に利用され、施設の賑わい創出に寄与した。 プール・トレーニングルーム利用者向けにシューズやタオル等のレンタルを行い、スポーツ実施をサポートする環境整備に努めた。</p> <p>団体利用者を対象とした利用者懇談会を開催し、ニーズの把握に努めた。個人利用者については、意見箱に寄せられたご意見の対応状況を館内に掲示することで、施設運営の更なる透明化とともに、利用者との間の信頼関係の醸成に努めた。 こうした取組の結果、利用者満足度調査では満足度95.3%の高い評価を得ることができた。</p>																																																																	